

戦略1 暮らし ～暮らしの安心感を高める“つながり”の構築～

市民の暮らしの安心感を高めるため、地域での支え合いや担い手の育成に向けた「“つながり”を育むまちづくり」を進めるとともに、「こども」「高齢者」「中山間地域」の視点から“つながりの力”を育みます。

【主な事業】

◆福祉の相談窓口の強化

上越市版地域包括ケアシステムの構築に向け、高齢者の総合相談窓口である地域包括支援センターの業務に、障害のある人や生活困窮者などの相談対応を加え、さらなる機能強化を図り、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを進めます。

- 地域包括支援センター運営事業(2億6,837万円)
- 障害者の相談支援事業(3,446万円)
- 生活困窮者自立支援事業(3,526万円)

◆外国人市民が安心して暮らせる環境の整備

増加傾向にある外国人市民が安心して暮らせる環境を整備します。

- 多文化共生推進事業(1,129万円)
 - ・上越市国際交流センターの相談窓口の開設時間を拡充するとともに、72言語に対応する自動翻訳機を導入し、相談機能を強化します。
 - ・「やさしい日本語(簡単で外国人にわかりやすいように配慮した日本語)」講座を新たに開催します。
- 医療通訳ボランティア事業(32万円)
 - 医療通訳ボランティアのスキルアップや育成に向けた講座を開催し、外国人患者の受入体制を整備します。
- 外国人・帰国児童生徒への日本語支援事業(793万円)
 - 日本語と教科指導の支援を行い、基礎的・基本的な知識の習得に向けた取り組みを強化します。

◆新たな環境課題への対策(30万円)

食品ロスやレジ袋の有料化、海洋プラスチックごみなどの新たな課題への対応が急務となっていることから、積極的な情報発信と啓発活動を行い、市民・団体・企業の意識醸成を図り、地域ぐるみでの環境改善の取り組みを促します。



◆こどものすこやかな育ちの支援

- 子どもの虐待予防推進事業(1,385万円)
 - 年々増加する児童虐待事案に対応するため、市内の大学と協働で作成する子ども向け虐待防止リーフレットを児童生徒に配付し、虐待の発生予防や早期発見につなげていくほか、家庭相談員を増員し相談支援体制を強化します。

◆有害鳥獣対策の強化

農作物などの鳥獣被害が深刻な現状を踏まえ、被害防除と捕獲の両面で総合的な被害防止対策を進めるとともに、住宅地周辺でもクマやイノシシの出没が増加していることから、人身被害の防止を図ります。

- 農作物鳥獣被害防止対策事業(733万円)
 - 新たに鳥獣被害対策実施隊を組織し、集落などの要請に即応できる捕獲体制を整えます。
- 大型野生鳥獣の出没対策(658万円)
 - クマやイノシシによる人身被害を防止するため、注意喚起と出没抑制対策、捕獲体制の強化を図ります。

その他の取り組み

- 戦争体験伝承事業(114万円)
 - 戦争の悲惨さと平和の尊さを将来にわたって次の世代に伝えるため、後継者の育成や戦争関連資料の保存・活用について、専門家などによる検討委員会で検討します。
- 休日歯科診療センター運営事業負担金(3935万円)
 - 老朽化が進む休日歯科診療センターを上越保健センター内に移転・整備するとともに、新たに取組む障害者歯科診療の関連経費を負担し、休日等における歯科診療体制の確保、充実を図ります。
- 森林環境税関連対策事業(99万円)
 - 森林経営管理法に基づく取り組みとして、未整備森林の所有者に対して経営管理の意向調査に着手します。
- ◆少雪による農業への影響に対する対応
 - 今冬の記録的な少雪により、水稻の春作業に必要な農業用水の確保と、水稻の作付けが困難な圃場での作物の転換を支援します。
- 緊急簡易貯留施設整備・ため池維持修繕事業(3月補正2700万円)